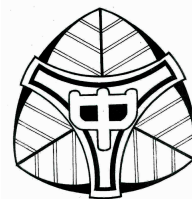


相模原市立上溝南中学校

令和8年度6・7月号
7月16日発行



上南中だより

本当の「自分らしさ」とは

校長 松尾 英和

みなさん、こんにちは。今日で1学期が終了します。

これまで私は、集会や日々の生活の中で、みなさんに「自分らしく」「個性を大切に」「得意を伸ばそう」と言い続けてきました。これは、今でも私の心からの願いです。今日はそこから一歩進んで、みなさんと「成長する」ということについて考えてみたいと思います。

「自分らしく生きる」ということは、「ずっと今の自分のままでいる」ことではありません。「得意なところをさらに伸ばすこと」とともに、「自分をさらに広げたり、修正したりすること」も、自分らしく生きるために大切なことです。「もっとこんな人になりたい」「自分のこういうところを少し変えてみたい」と自分で思い、変わっていくこと。それこそが、実は「自分らしく生きる」ための素晴らしい挑戦であり、私たちはそれを「成長」と呼びます。

一昨年まで上溝南中学校には、「5つの心」という「人として大切な心」が掲示されていました。「我慢」「好奇心」「思いやり」「感謝」「正直」の5つです。当時の先生方は、上溝南中学校のみなさんに、そういう心を持った人になってほしいと願い、この掲示を作りました。その願いは、今の先生たちも全く同じです。

では、なぜその掲示をやめたのでしょうか。それは、みなさんに身につけてほしい「大切な心や行動」は、他にもたくさんあるからです。例えば、「愛」「優しさ」「礼儀正しさ」「素直さ」「謙虚さ」「誠実さ」「真面目さ」「向上心」「努力」「協調性」「寛容」……。私たちが社会の中で、多くの人と関わり合いながら生きていくために必要なことは、5つだけでなくたくさんあります。

そして、それらはみなさん自身が、他人の姿を見て感心したり、他人の話を聞いて深く考えたり、他人との関わりの中で失敗して後悔したり、本や映画、授業などで様々な人の生き方に触れたりしながら、自分で「こうなりたいな」と思って自分を高めていくことが、一番「自分らしく生きる」ことにつながると思ったからです。

みなさんも気づいているかもしれませんが、上溝南中学校のルールはそれほど厳しくありません。ルールを破ってしまった生徒に対しても、先生たちはできるだけ強く叱ったりせず、多くの場合、話をして一緒に考えるようにしています。

もちろん、とても大きなこと(安全や命に関わるようなこと)の場合は、理由を説明する前に、まず行動をやめさせることもあります。そして、先生が強く叱らないからといって、ルールを平気で破るようになってほしいわけでもありません。

一番大切だと思うことは、罰や恐怖で縛ってやめさせるのではなく、本当の意味で、みなさんに「人として素敵な人」になってもらいたいということです。

「ルールだから守る」というのは、社会で必要な考え方です。けれども本当は、「ルールだから守らなくてはならない」ではありません。「そのルールを破ると困る人、嫌な思いをする人がいるから」「学校が良くない方向に行ってしまう、そのせいで嫌な思いをする人が出るから」「あとで自分や、自分の大切な人を苦しめることになるから」守る必要があるのです。

私は、みなさんには単に「ルールを守れる人間」になるよりも、「自分や他人を大切にできる人」になってほしいと思っています。自分や他人を大切にできる人は、結果としてルールも守るからです。

「友だちが良くないこと(人の悪口を言う、ルールを破るなど)をやっているから、自分もやっていい」という考え方ではなく、自分はどうすべきなのか。先生たちは、みなさんがルールを破ってしまった時、どうしてそのルールが必要なのか、それを破ったら「誰が嫌な思いをするのか」を話してきました。それは、みなさん一人ひとりの「良心」に問いかけ、本当の自分らしさを考えてほしいからです。

自分以外の人と一緒に暮らす社会の中で、「自分らしく、幸せに生きる」とは、わがままに生きることではありません。自分の個性を大切にしながら、自分のペースで、少しずつ自分を高めていくこと。自分の「良心」と向き合い、昨日の自分よりも少しだけ「人として大切な心」を意識できる自分になること。それこそが、本当の意味での「成長」であり、「自分らしさ」を深めていくということだと思うのです。

私は毎朝は難しいのですが、できるだけ、朝、宮崎先生と校門でみなさんをお迎えするようにしています。地域の方々も週に1回、校門に立ってあいさつ運動をしてくれています。多くの生徒は「おはようございます」と挨拶すると「おはようございます」と答えてくれます。目を合わせて笑顔で挨拶してくれる人や、自分から大きな声で挨拶してくれる人もいます。そんな時、心はとってもほっこりします。

しかし時々、挨拶を返してくれず、素通りしていく人もいます。そんな時、心はちょっと悲しくなります。週一回来てくれている地域の方々も、きっと同じ気持ちだと思います。

だからといって、「これからは全員あいさつをしてください」というつもりはありません。「自分も相手も幸せになること」と「相手には少し嫌な思いをさせること」のどちらが本当に自分のしたいことなのか。それを自分の良心に問いかけ、自分の良心に従って行動してほしいと思っています。

明日から長い夏休みが始まります。ぜひ、これまでの自分の得意なところを伸ばしつつ、「なりたい自分」に少しずつ気づき、自分を高められるような、そんな成長の夏にしてほしいと願っています。

2学期、また少し素敵な人になったみなさんに会えるのを楽しみにしています。